

2024年5月2日

三菱UFJ信託銀行株式会社

カーボンクレジット活用による社会課題解決を目指す岡山県真庭市との協定締結について

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 ながしま いわお 長島 巖、以下 三菱UFJ信託銀行）は、カーボンクレジットを活用した再造林推進の可能性を検証することを目的として岡山県真庭市（市長 おおた のぼる 太田 昇、以下 真庭市）と協定を締結致します。

1. 協定内容

岡山県真庭市で皆伐された後に再造林が為されていない土地が増加している課題に対して、三菱UFJ信託銀行が同市と連携してカーボンクレジットを活用しながら再造林推進の可能性を検証していきます。短期的には、再造林が実施される土地の増加による社会課題解決への貢献に繋がり、中長期的には、創出したカーボンクレジットをカーボンニュートラルに関心を持つ企業や個人に活用して頂くことや、更にはカーボンクレジット創出に関連した森林ファンドの提供も行うことで幅広いステークホルダーの皆様のニーズに応えて参ります。

2. カーボンクレジットの獲得方法

今回のプロジェクトでは、J-クレジットに2022年度新規に追加された方法論であるFO-003再造林を使用する予定です。この方法論は、皆伐後に再造林が為されていない土地を獲得して、再造林することに伴い増加したCO2吸収量がカーボンクレジットとして認定されるものです。この方法論を選ぶ理由は、将来的にカーボンクレジットへの需要が高まることが想定される中で、同時にカーボンクレジットの「質」が重要になってくると考えるからです。「質」の議論になった際に、皆伐された土地に木を植栽することでCO2吸収量が増加するというロジックはシンプルで説明力が高く、協力する地域にとっても価値の高いものになると感じています。また、全国の自治体の皆様と様々な林業の課題をディスカッションする中で、再造林が進まない土地の増加は優先順位の高い課題であり、本プロジェクトはその解決の一助となることも期待しております。

本協定は2050年カーボンニュートラルへの貢献を目指した取組の一つであると考えており、当社は本件を進めていくとともに、CO2の吸収主体でもある森林、農地を取り巻く環境改善に向けた取組に幅広く取り組んで参ります。

以上